

採種タマネギ栽培における機械収穫・乾燥システムの開発

現在の 収穫・乾燥作業体系

○作業能率が低く、
天候不順や労働力不足等により適期収穫が困難
→登熟不足、自然落下による収穫ロス

- ①鎌で1本ずつ手刈り
- ②数本ずつゴムで結束
- ③吊り小屋で自然乾燥

・暑い日の重労働
・収穫適期が短い
(2~3日)

○高温多湿による乾燥不良
→種子品質が不安定

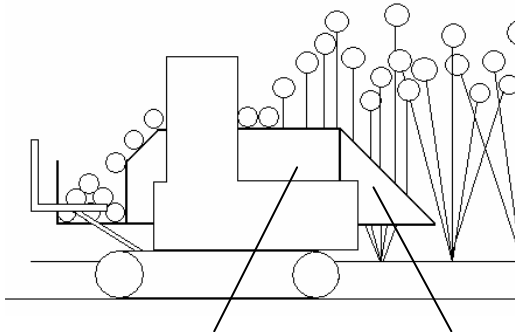
作業能率
32時間/10a・人
収穫 17h/10a、乾燥 15h/10a

花球(ネギ坊主)収穫機の開発

- ・自由落下方式による収穫装置の開発
- ・作業能率に優れた実用機の開発

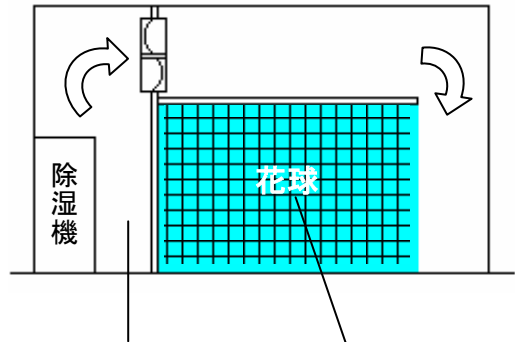
種子乾燥システムの開発

- ・除湿機を用いた種子乾燥装置の開発
- ・利用技術のマニュアル化



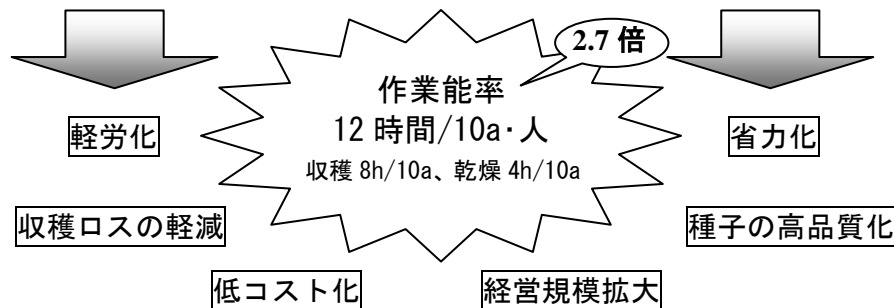
落下補助機構を有する搬送部

搬送姿勢の維持・修正が可能な前処理部



乾燥むらがなく作業性のよい差圧構造

種子乾燥特性に基づく適正乾燥



採種農家の所得向上・経営安定